

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年11月8日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年11月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【5号機 残留熱除去海水系ポンプ(B)潤滑油冷却設備のルーバーの脱落について】 潤滑油冷却設備のルーバーが腐食により脱落しているのを確認。 ルーバー脱落による潤滑油の冷却機能に影響なし。 ルーバーの交換を実施する。	GⅢ
2	【4号機 原子炉建屋カバー設備のダストサンプラ(A)の不良について】 ダストサンプラの気密モータ異常を示す警報が発生し、ダストサンプラが停止。 ダスト濃度はダストサンプラ(B)にて測定可能。 気密モータの交換を実施する。	GⅢ
3	【雑固体廃棄物焼却設備 投入ホツパ(A)の不具合について】 投入ホツパ(A)重量計が測定不良。 点検を実施する。	GⅢ
4	【3号機 燃料取扱設備のテンシルトラスホイスト6 巻取り異常警報の発生について】 燃料取扱設備のテンシルトラスを巻取り中、「テンシルトラスホイスト6 巻取り異常」警報が発生。 原因調査中。	GⅢ